

第2回 御菌橋デザイン検討会

会議議事録

【開催概要】

日 時：平成21年 2月6日(金)
15時00分～17時00分
場 所：上賀茂神社 社務所（勅使殿）

【委員】

家村 浩和（京都大学名誉教授）（座長）
川崎 雅史（京都大学教授）
上賀茂学区，柘野学区，大宮学区，紫竹学区，御菌橋801商店街，上賀茂神社

【景観に係る上位計画】

- ・御菌橋は、『近景デザイン保全地域』に指定されており，使用する色彩等制限をうける。
- ・御菌橋は『風致4種』の風致地区に指定されている。
- ・御菌橋付近は，第一種住居専用地域等に指定されており，将来的にも高い建物は建たない地域である。

【意見の概要】

- 1 デザイン方針について
 - ・ 提案のなかに「安全」というキーワードも入れたい。
 - ・ デザイン方針は「ゆとりがある橋」，「やさしさやあたたかさを感じる橋」というような大きなフレーズの表現がよい。
- 2 デザインについて
 - ・ 上部工と下部工が一体となったようなデザインがよい。
 - ・ 橋脚のデザインもしっかりと考えたい。
 - ・ 御菌橋の高欄は，拡張される前は木か石で出来ていた記憶がある。
 - ・ この地域で赤い色の工作物を新設することは難しいと思う。
 - ・ 路面をアスファルトではなく石が見えるようなものとし，参道の雰囲気を出すことは出来ないか
 - ・ 歴史的なデザインを継承することも重要だが，ガラスなどを利用し，周辺に埋没させる現代的な透過性の高い橋とすることも考えられる。
 - ・ 古いものを守るだけでなく，新しく景観を創っていかなくてはならない。
 - ・ 供用してから70年も経っているので，架け替えの方が望ましいのではないか。
 - ・ 治水に関しても考慮しなければならない。
 - ・ 御菌橋は北部地域の中心であるので，地域で一体となって，まちづくりを考えていきたい。